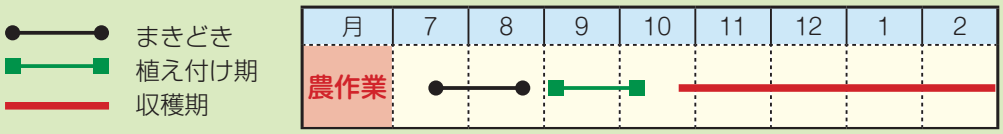
ブロッコリー　7月に種まき、春先まで収穫

10月から2月まで何度も収穫できるアブラナ科の緑黄色野菜です。肥料切れをおこさないことが栽培のポイントです。



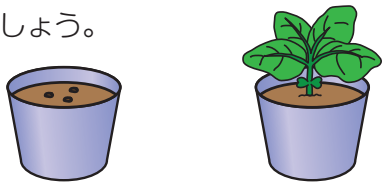
栽培方法・時期は目安です。適温でのタネまき、地域や条件、品種に合わせた栽培をおすすめします。

①種まき・育苗

ポットに育苗培土をつめ、５mmくらいの穴を３つ開け、１粒ずつ種をまき土をかぶせます。

高温期ですので水でたっぷり湿らせ、乾燥防止のため新聞紙を掛け風通しのよい場所に置き、発芽したら直ちに新聞紙を取り除きます。

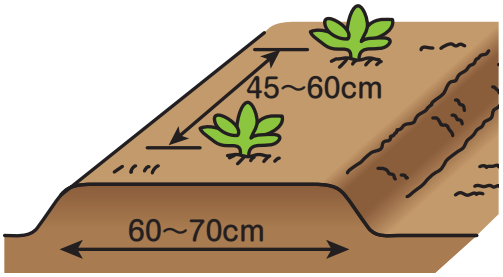
本葉１枚のころ１つのポットに１株になるように間引きし、本葉が４～６枚に育ったら畑に定植しましょう。



②畑の準備・定植

定植２週間前に1㎡当たり苦土石灰150g、堆肥2kgを施し、よく耕しておきます。１週間前に1㎡当たり化成肥料100gを施して耕します。

畝幅60～70cmの畝を作り株間45cm～60cmに定植します。



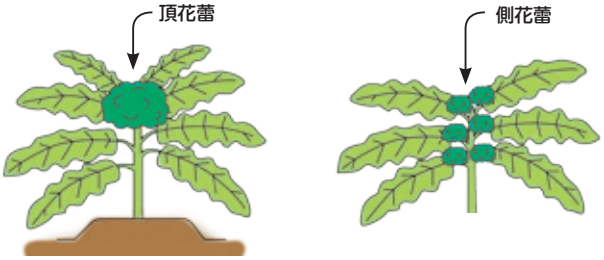
③作り方のポイント

定植して15～20日目に化成肥料を1株に軽く一握りずつ施して軽く耕し土を寄せます。２回目は蕾の見え始め、３回目は頂花蕾（ちょうからい）を収穫した時に行いますが、側花蕾（そくからい）は春まで収穫が続きますので追肥を行い肥料切れを起こさないことがポイントです。

害虫については、アオムシ、ヨトウムシ、コナガ、アブラムシの発生に、病気はベト病、黒腐病に注意しましょう。

④収穫

60～70日で頂花蕾の収穫となります。頂花蕾が十分大きくなり中央部が盛り上がってきたら、茎の部分を15cmくらいつけて切り取ります。側花蕾はやや小形になりますが、肥大してきたら順次収穫しましょう。



栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。
種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのJA購買店舗をご利用ください。